

大井九条の会

大井九条の会
事務局連絡先
83-2358 二上

3月15日の定例会では

午前に新松田駅前で街頭宣伝を行い午後2時から定例会です。最初に、8月の平和の集いで予定している四國光著の『反戦平和の詩画人・四國五郎』を作者のインタビュ形式で紹介しているビデオを視聴しました。四國五郎は1944年に召集され満州に配属、敗戦後、シベリアに抑留されました。戦後、その卓越した描画力、文章力、記憶力で多くの文献を残し、日本軍内の理不尽な暴力、シベリアでの過酷な実相をあきらかにし、『おこりじぞう』の絵を描いたことで知られています。

また、8月行事の内容について、田村さんより説明があり、四月定例会では、チラシの原案などまで踏み込んで決めていこう、戦時体験集IVについては、発行が遅れるが、何人かの追加も考えていこうと話し合いました。



先日、久しぶりに会うことになった友だちと上野で待ち合わせ、近くの湯島天満宮にふらりとお参りしてきました。10何年ぶりに会うというのに不思議と時の流れを感じることなくノープランで待ち合わせをした我々はふと、そういうえば梅が好きだったよね〜という会話から神社に向くことになり、駅から歩くこと15分、無事に満開の梅の花とウグイスの共演を観賞してきました。花に負けじと合格祈願の絵馬がどっさり連なっていたのも印象的でした。

日々是好日

例えば、子どもが通う保育園は曾我の梅林の中にあり、身近に梅の花を観賞することが出来ていたのに春の訪れをゆっくり感じることを忘れており、旧友の閃きに感謝しました。また前回のらんまん俳句会で偶然にも梅にちなんだ句を詠みましたので、お恥ずかしながら作った句を一句。

「梅開花 送迎がてら 曾我巡り」

季語に梅を用いて、日常を表現してみました。

先生からアドバイスをいただき、「送迎の 娘と巡りおり 梅の里」に改句しました。

「娘」と書いて「こ」と読みます。どなたの送迎なのかと、曾我は地名を知らない方には伝わりにくいというポイントをおさえ出来上がりました。

日本国憲法 第二章 戦争の放棄

第九条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

第二項 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

次回定例会

・4月5日(土) 14時
・そうわ会館第2会議室

別の句に「夫」という文字を使ったのですが、こちらは「つま」と読むそうです。俳句は決められた文字数に季語を入れて、さらには季重ねといって例えば冬の季語の「雪」と「寒い」を入れた句になると季語が2つになる為、季語を一つに絞るルールがあります。

また、俳句の心得として過去ではなく現在進行形の季節柄のことや、例えば2月であれば3、4月のような先を見据えた未来形の事柄が好ましいこと、できるだけ説明文にならず想像を掻き立てるような余韻のある句を意識すると良いということ学びました。初めは俳句に難しそうな印象をもっていました。初めてみると勉強になり、皆さまの個性的で素直な表現が心地よく、発表し合った時の共感や自分にはない感性が刺激にもなり楽しいです。

大井町に越してきて子育てサークルを通して幅広い世代の方とも交流するご縁があり、日々諸先輩方の包容力や知恵に支えられ何よりエネルギーな行動力にパワーをいただいています。こんな私も育児休職中は支える側になれたらと思いきや社会福祉協議会で募っていた「生活応援隊」に夫とともに加入し、その時受講したのはじめの一步講座のことを今でも覚えています。

支える側である参加者のほとんどがご年配の方で、逆に私が下の子を連れていたら珍しいと感じておられました。テーマの「大井町のこれからのささえあい活動について」でグループ討論した際、子育ての助けになるにはどうしたらいいのかとおっしゃられた方がいました。コロナの影響により昔と今では違うからと手助けの仕方でも悩まれていて、私は諸先輩方の志の高さに感激しました。超高齢化が進む昨今の状況から同世代の方同士で支え合う現実を目の当たりにしましたが、福祉のささえあいとは世代を超えて自分ごとのように考えられるお互い様の意識を持つことが大切なのだと感じられた貴重な機会になりました。

私が歳を重ねて皆さまのように温かくエネルギーに行動できるかはあまり自信がありませんが、日々支えられていることに感謝し、当時感じた気持ちをこれからも忘れないように過ごしていきたいです。

S・M

